

1

透析患者の
合併症

レストレスレッグス症候群

透析における様々な合併症として今回は「レストレスレッグス症候群」です。

レストレスレッグス症候群とはどんな病気？

レストレスレッグス症候群は「むずむず脚症候群」とも呼ばれており、主として睡眠時や安静時に下肢の不快感（虫が這う感じやむずむず感）を生じて、自分の意思とは関係なく足を動かしてしまう病気です。はっきりとした原因はわかっていますが、慢性腎不全患者の約20%にみられるといわれています。

原因は？

はっきりとした原因はわかりません。しかし、鉄欠乏性貧血や脳のドパミンの作用不足などで起こると考えられています。

こんな治療を行います

治療法はまだ確立されていませんが、禁煙、過度な飲酒、カフェイン摂取は避け、鉄欠乏性貧血がある場合にはその治療を行います。また、レストレスレッグス症候群になると睡眠障害が起こったり、抑うつ状態になることがあるので、それらの症状を発症した場合には注意が必要です。

早期発見と予防 こんな症状があれば医療スタッフにすぐ報告を

足に不快感を生じたときには、治療方法でも述べたとおり、禁煙、過度な飲酒を避けるなど、できることをしましょう。また不眠症や抑うつ状態（眠れない、やる気が起こらない、食欲がないなど）になったときには、すぐに医療スタッフに報告してください。

※最近ではオンライン HDF という治療方法でレストレスレッグス症候群が改善したなどの報告があります（日本透析医学会など）。